

特集 認知症を正しく理解し、サポートしよう



認知症とは

認知症は脳の病気や障害などさまざまな原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障をきたす状態をいいます。  
進行する病気のため、早期に診断されることが期待できます。できないことが少しずつ増えていきますが、今できていることを維持していくことが大切です。また本人が望む暮らしを続けるために、症状が軽いうちに、本人や家族と今後の暮らし方について話し合うことも大切です。

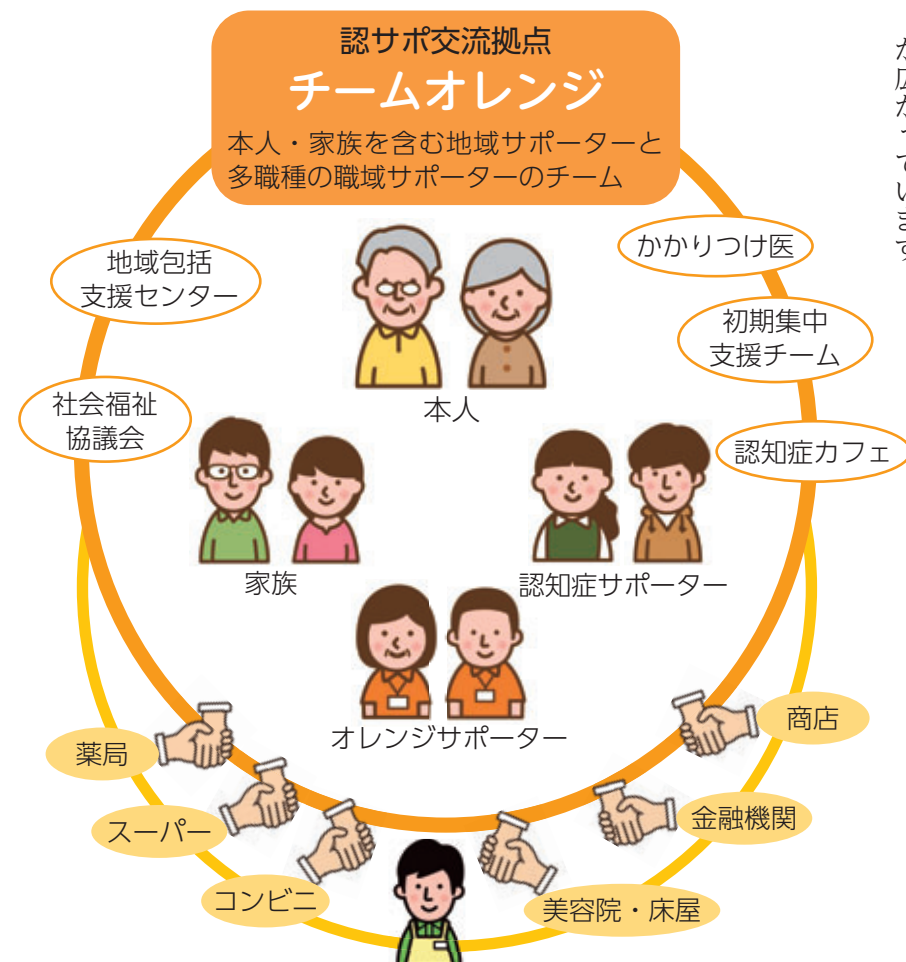
※世界アルツハイマーデーとは  
国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機構（WHO）が共同で、毎年9月21日を世界アルツハイマーデーと定めました。認知症に関する理解を深め、患者と家族に支援と希望をもたらすことを目的としています。

チームオレンジの取り組み

町では、認知症サポーターやオレンジサポーターが中心となり、身近な関係者でチームをつくり、認知症の人とその家族の生活を支える「チームオレンジ」活動に取り組んでいます。  
見守りやごみ出しなどの生活支援を行い、地域ぐるみで活動の輪が広がっています。

認知症サポーターになると、認知症の基礎知識が学べます。あなたも認知症サポーターになりませんか？町では、養成講座を随時行っています。

認知症サポーターは1,900人いるよ！



オレンジサポーター



「認知症サポーター」が、ステップアップ講座を受講すると「オレンジサポーター」として活動することができます。

地域での見守りのほか、オレンジカフェや認知症予防教室の運営をサポートしています。

オレンジサポーターは49人いるよ！



オレンジカフェ



オレンジカフェは、認知症や介護について気軽に相談ができる居場所です。

予約は不要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

毎月第3火曜日 午後1時30分～4時  
にこここ甘楽 地域包括支援センター

認知症初期集中支援チーム派遣事業

40歳以上の自宅で生活している認知症やその疑いのある人を対象に、精神保健福祉士などの専門家によるチームが自宅を訪問します。

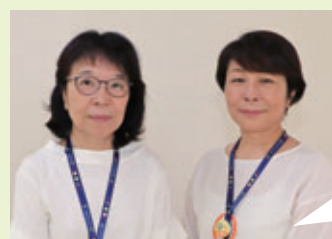
生活上の困りごとに関して本人や家族をサポートしています。（西毛病院委託事業）

オレンジカフェ通信

認知症に関する情報や活動などを紹介する通信を隔月で発行しています。町内の医療機関、薬局、郵便局、ガソリンスタンドなどに置いてあるほか、町ホームページでもご覧いただけます。



認知症地域支援推進員



山田さん 金田さん

わたしたちが、認知症地域支援推進員として活動しています。認知症かもしれないけれど、どこに相談したらいいかわからない、認知症について知っておきたいなど、お気軽にご相談ください。

地域包括支援センターでは、図書館と連携してオレンジ文庫を運営し認知症に関する本の貸し出しを行ったり、介護予防教室を開催しています。

10月末までは「認知症」についての特設展示も行っていますので、ぜひお越しください。

問い合わせ

甘楽町地域包括支援センター  
（にこここ甘楽内） ☎67-5182